

平成28年度学校評価

学校名	大分県立大分雄城台高等学校
-----	---------------

前年度評価結果の概要	<p>○学力の三要素を踏まえた生徒の学力向上を実現するための更なる授業改善を全教員で推進する必要がある。</p> <p>○「真の文武両道による人材育成」について、再度共通認識を図り、全教職員が協働して、その達成を目指す必要がある。</p> <p>○学校全体が落ち着いた、服装・頭髪指導やあいさつ指導、校内の環境美化等が徹底しているが、自転車による事故の件数が多く、交通安全指導の一層の取組が必要である。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
「誠実・自主・創造」の校訓のもと、社会において逞しく生き抜き、積極的に貢献できる生徒の育成を目指す。	<p>1 確かな学力の定着と3年間を見通した進路指導により、進路希望の達成を目指す。</p> <p>2 真剣な学習活動と活発な部活動を通して、「文武両道」を推進する。</p> <p>3 信頼関係に基づいた、手厚い生徒指導と積極的なキャリア教育により、心豊かで、尊敬される人材の育成を推進する。</p>	<p>1 学力向上と3年生全員の第1志望校の合格を目指す。</p> <p>2 「文武両道」の実現と規範意識の育成により人間力の向上を図る。</p> <p>3 PTA・同窓会との連携や積極的な情報発信により地域から信頼される学校の実現を目指す。</p>

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL	検証結果(自己評価)			学校関係者評価
					評価	分析・考察	次年度の改善策	
1 学力向上と3年生全員の第1志望校の合格を目指す。	<p>①3年11月模試における5教科平均点偏差値48以上の人数80人以上。</p> <p>②12月の授業アンケートにおける生徒の授業満足度80%以上。</p> <p>③11月時点において、生徒全員の自主学習時間、1年生2時間、2年生3時間、3年生4時間以上。</p>	第1志望校合格に向けた進路意識・学習意欲の向上。	<p>①3年間を見通した進路達成計画の作成。</p> <p>②各模試毎(1,2年3回、3年4回)の第1志望校合格に向けた達成状況の分析会の開催。</p> <p>③昨年度作成したアドバンスクラス指導プログラムの完全実施。</p>	PL 文武両道推進部長 SL 進路指導課長、年次部主任、 (③は主幹教諭の特任事項)	3	<p>○3年11月模試5教科平均点偏差値48以上は72名(達成率90%)</p> <p>○「1,2年生進路指導年間計画」「3年生進路指導年間計画」を作成。10月に平成28年度進路指導資料『雄峰』を進路指導課から発行。</p> <p>○模試分析会を3学年4回、1,2年生3回実施。</p> <p>○5月にアドバンス講座(1,2年生)を実施。8月に1年生九大オープンキャンパス参加。高校教育課主催セミナーにも参加。個人添削指導も継続中。</p>	○理系クラスの進路目標達成に向け、数学・理科を中心とした学力向上を図る。	○進路意識や学習意欲の向上に向けて、3年間を見通した進路達成計画を作成している学校が一体となって対外模試の分析や各教科の指導の見直しを図り、多岐にわたった取り組みを精力的に行っている。
		生徒の学力向上を目指した授業改善。	<p>①生徒による授業アンケート(7月、12月)の実施と結果を踏まえた授業改善。</p> <p>②教員全員での年2回(7月・11月)の校内授業研究会の実施。</p> <p>③大学入試問題の徹底分析と研究(8月末まで)。</p> <p>④雄城高模試(年2回)の作問方法の改善・充実。</p>	PL 管理職、文武両道推進部長、 教育環境企画部長 SL 学習指導課長、年次部主任、教科主任	3	<p>○生徒による授業アンケート第2回を12月に実施。授業満足度は83.8%(第1回から6.6ポイント向上)</p> <p>○全教員参加の校内授業研究会は6月(国語、公民、数学)、10月(理科、英語、保健、家庭)を、高校教育課・体育保健課及び教育センターから指導主事を招聘して実施。</p> <p>○大学入試問題研究報告書を5教科担当者全員が作成。報告集を9月に全員配布。</p> <p>○雄城高模試を6月・10月に実施。結果をふまえ、分析検討会を7月、11月に実施。次年度の問題作成が進行中。</p>	○高大接続改革(大学入学希望者学力テスト)や学習指導要領改訂にかかる情報収集・分析を教科ごと実施。 <p>○アクティブ・ラーニング型授業の効果的な実施を目指した授業改善の継続。</p>	○生徒の学力の向上に向けて、授業研究、雄城高模試、大学入試の分析研究など雄城台方式ともいえる様々な取り組みを計画的に行っている。生徒の授業アンケートにおいても満足度が非常に高い。
		家庭学習時間調査に基づく情報の共有及び、学習の質と量の改善。	<p>①家庭学習時間調査(毎月)の結果及び進路志望状況のクラス別、部活動別集計と職員への配布。</p> <p>②5教科(国・地公・数・理・英)における習熟に応じた課題(応用・基礎)の作成。</p>	PL 文武両道推進部長 SL 学習指導課長、年次部主任、教科主任、	2	<p>○11月学習時間調査目標達成率1年生＝80.8% 2年生＝87.1%、3年生＝58.2%</p> <p>○家庭学習時間調査を実施し、月ごとの集計結果の配布ならびに学習指導課による分析結果の職員会議での共有。</p> <p>○2学期(9月と12月)、クラス担任と部活動顧問による情報共有会議を実施。留意すべき生徒の学習状況に応じて、必要な指導を実施。</p>	○家庭学習時間調査結果の分析と対策の検討を、学年会議で毎月実施。 <p>○家庭での携帯・スマートフォンの利用時間を減らすために、保護者への協力要請を実施。</p>	○生徒の能動的な学習意欲を育成するために、家庭学習時間の確保に向けて、5教科の習熟に応じた課題の作成、職員間の情報交換会などを行っているが、継続的な対策が必要である。 <p>○早い時期(新入生時)勉強に対する動機付けができれば家庭学習時間等が増加するのではないかと。</p>
2 「文武両道」の実現と規範意識の育成により人間力の向上を図る。	<p>①生徒の部活動への加入率85%以上</p> <p>②12月の保護者アンケートの「あいさつの励行」「清掃の徹底」の評価85点以上</p> <p>③いじめ0、問題行動0等の安全な学校</p> <p>④「Q-U調査」での学校生活満足度60%以上</p>	真の「文武両道」に向けた教職員の意識統一。	<p>①部活動生集会を年間4回開催。</p> <p>②終礼時間及び絶対下校時間の厳守。</p> <p>③HR担任と部活動顧問との定期的な情報交換。</p>	PL 文武両道推進部長 SL 生活課長、年次部主任	3	<p>○部活動加入率＝87.6%</p> <p>○学校行事満足度＝95.3%(平均)</p> <p>○保護者アンケートにおける「絶対下校時間厳守ができて」92.3%</p> <p>○部活動生集会を4回開催。学習と部活動の両立に向けた意識付けを実施。</p> <p>○2学期始めと終わりに、クラス担任と部活動顧問による情報共有会議を実施。留意すべき生徒の学習状況に応じて、必要な指導を実施。</p>	○家庭学習時間調査結果を踏まえたクラス担任、部活動顧問相互の連絡協議会を実施(年3回)。	○「文武両道の堅持」は雄城台高校最大の看板であるとともに、学校行事や部活動などで個々が活躍出来る場面を与えられ、多方面で指導を受けられることは生徒にとっても幸せなことである。 <p>○国公立大への合格者が100名を超える中、90%に近い部活動の加入率と学校行事の満足度 95%は素晴らしい成果であり、非常に高く評価できる。</p>
		「雄城坂はあいさつの坂」運動の継続と清掃活動の徹底。	<p>①生徒会、教職員による生徒昇降口での声かけ(毎日)</p> <p>②校内掲示と全校集会での「先のあいさつ」の徹底。</p> <p>③教師と生徒と一緒に取り組む(師弟同行)の清掃活動の徹底</p>	PL 人間力育成部長 SL 生徒指導課長、	3	<p>○保護者アンケートにおける「あいさつ」「清掃」の評価84.6%</p> <p>○教職員による生徒昇降口での声かけ(毎日)と、生徒会による挨拶運動(月1回)の実施。</p>	○生徒会美化委員会によるクラス対抗の美化コンクールの実施(学期に1回)。	○雄城台高校の「あいさつ」「清掃」運動は生活指導の礎を支える取組である。保護者アンケートの評価も高い。
		自転車通学生の交通ルール・マナー向上のための意識啓発や指導の徹底。	<p>①新入生対象の自転車マナー講座を4月中に実施。</p> <p>②全校生徒を対象に自転車安全運転教室を5月までに実施。</p> <p>③全職員による登校中の安全指導週間の設定(毎月)。</p>	PL 人間力育成部長 SL 生徒指導課長、	3	<p>○自転車事故件数1学期11件→2学期7件→3学期1件</p> <p>○新入生を対象に自転車マナー講座(自転車事故における加害責任と損害賠償)を、全校生徒を対象に大分南警察署から講師を招聘して交通安全教室を、それぞれ5月に実施。</p> <p>○全職員による交通安全指導週間の実施(毎月)、5月に自転車安全点検を全学年で実施。</p> <p>○2学期始業日に自転車通学生集会を実施し、注意喚起・意識喚起に努めた。</p>	○事故件数19件中12件が1年生の事故。また11件が1学期中の事故であることから、新入生に対する早期の指導を徹底。 <p>○家庭での意識喚起のため、事故発生マップを保護者にも配布。</p>	○車歩道で高校生の並列走行が多々見受けられる。交通安全に対するマナーや意識は平素からの地道な指導により徐々に向上しているが、自分を大切にすることで、交通マナーは繰り返し指導の徹底を図ることが必要。
		「自ら考え行動する自立的精神」と「相手の気持ちを思いやる豊かな心」の育成。	<p>①OGIメモコンクール(年2回)等によるOGIメモの活用促進</p> <p>②「いじめ発見のための先の先」を学期末に保護者宛配布し活用する。</p> <p>③新生支援学校との生徒交流会の実施(年2回)</p> <p>④「親と子の携帯電話契約書」の活用の促進とネットパトロールの実施。</p>	PL 人間力育成部長 SL 生徒指導課長、人権教育課長、 保健・教育相談課長	3	<p>○Q-U調査 学校生活満足度 61.7%</p> <p>○4月の新入生教育プログラムで「OGIメモの活用講座」を、10月・3月にOGIメモコンテストを実施。</p> <p>○「いじめ発見のための先の先」を審査成績とともに保護者あて送付。</p> <p>○新生支援学校との生徒交流会を7月・9月の2回実施。</p> <p>○7月の1学年PTAにおいて「親と子の携帯マナー教室(NTTドコモから講師を招聘)」を実施。</p>	○教育プログラムやオープンスクールにおいて、OGIメモコンテスト優秀者の活用例について紹介。	○学習面だけではなく社会人として重要な連絡するマナー特に自己管理能力の育成に繋がるOGIメモの取り組みは本当に注目したいアイデアである。 <p>○「自主自立的精神」と「他を思いやる豊かな心」の育成に向けて「OGIメモ」、「いじめの防止」、「新生支援学校との交流」は継続して実施して欲しい。</p>
3 PTA・同窓会との連携や積極的な情報発信により地域から信頼される学校の実現を目指す。	<p>①12月の保護者アンケートの総合評価80点以上。</p> <p>②同窓会との連携事業を年3回以上実施。</p> <p>③HPの積極的な更新と広報紙の発行。</p>	PTAとの連携強化。	<p>①PTA総会(報告会を含む)の出席率85%以上。</p> <p>②クリーンアップ雄城台への保護者出席数250名以上。</p> <p>③職員とPTAによる登校中の交通安全指導の実施(年6回)。</p>	PL 教育環境企画部長 人間力育成部長 SL 総務課長、生徒指導課長	4	<p>○保護者アンケート「雄城台高校に入学させてよかった」88.8%</p> <p>○PTA総会(報告会を含む)の出席率91.7%</p> <p>○クリーンアップ雄城台への保護者出席数223名。総参加数519名</p> <p>○職員とPTAによる登校中の交通安全指導の実施。</p>	○PTA総会出席率の維持。 <p>○クリーンアップ雄城台への保護者参加250名以上実現のために、1学期前半から広報活動を繰り返し実施。</p>	○PTAとの連携は良くできている。学校への信頼は非常に高い。PTA総会への出席率91.7%も申し分ない数字である。
		同窓会との連携強化。	<p>①同窓生による職業人講話の実施(1年生・7月)</p> <p>②修学旅行先での「先輩と語る会」の実施(2年生・11月)</p> <p>③全校生徒対象の里帰り講演会の実施(10月)</p>	PL 人間力育成部長 SL キャリア教育課長	4	<p>○同窓会との連携事業を3回実施。</p> <p>○同窓生による職業人講話の実施(1年生7月実施・9名の同窓生が講話)</p> <p>○修学旅行先での「先輩と語る会」の実施(2年生11月・34名の同窓生出席)</p> <p>○全校生徒対象の里帰り講演会の実施(全校生徒対象・10月実施)</p>	○同窓会事務局との連携により、次年度の「職業人講話」「里帰り講演会」、修学旅行先での「先輩と語る会」等の講師選定を、前年度中に実施。	○先輩方の話やアドバイスを受けるチャンスは、生徒さん自身の新たな目標につながる良い時間となる。同窓会との連携事業「職業人講話」「修学旅行先での先輩と語る会」「里帰り講演会」は高校生のキャリア教育として、非常に充実している。
		情報発信の強化。	<p>①HPの更新合計160回(週あたり3回)以上。</p> <p>②広報紙「雄城坂」の毎月発行。</p> <p>③校外掲示板(雄城台高校前バス停)の毎月の更新。</p>	PL 教育環境企画部長 SL 図書・広報課長	4	<p>○3月10日段階でのHPの更新回数、計259回(週あたり5回以上)。</p> <p>○広報紙「雄城坂」の発行及び中学校への送付実施中(毎月)</p> <p>○校外掲示板の更新継続中(毎月)</p>	○学校ホームページ、広報紙の発行回数の今年度実績の継続。 <p>○広報紙配布をかねた近隣中学校への学校訪問の実施。</p>	○HPの平素の更新は広報紙や掲示板とともに学校の情報発信に繋がっており、高く評価したい。

総合評価 次年度への展望等	<p>○進路指導体制や組織的な授業改善は軌道に乗った。本校の特徴の一つである、あいさつや清掃の徹底等とともに、今後も継続し、質的な向上を目指す。</p> <p>○PTAや同窓会との連携は良好であり、次年度以降も継続していく。地域への情報発信についても一層の充実を図りたい。</p> <p>○課題は家庭学習時間の確保、自転車事故の防止、OGIメモの一層の活用であり、重点的な取り組みを行っていく。</p>
------------------	---